

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	1 売れる農林水産品・加工品づくり 2 県産品の販路開拓・拡大の支援 3 農林水産業の担い手の確保・育成
事務事業名		将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト
<p>1 趣旨</p> <p>農林水産業は、生産者の熟練した技術や豊富な知識によって支えられてきたが、担い手の減少と高齢化が著しい島根県では、そうした技術や知識の継承が危ぶまれている。また、近年の農林水産業を取り巻く環境は、生産物価格の低迷、農山漁村の過疎・高齢化の進行など引き続き厳しい状況下にあり、さらに食や環境に対する消費者の意識の変化や流通のグローバル化、ライフスタイルの多様化が進む中であって、大きな変革の時期を迎えている。</p> <p>県内では、耕作放棄地や放置森林の増加が顕在化するとともに、農山漁村では生活環境を維持していくことが困難な集落も増加するなど、地域が抱える課題は一層複雑で深刻になってきており、温暖化や資源エネルギーなど地球規模で抱える問題と合わせ対応が急がれる。</p> <p>県の研究機関では、生産現場から要望のあった個々の技術的課題を早期に解決することに注力してきた反面、農林水産業の将来を見据えた先導的な研究開発への取り組みは十分ではなかったことから、こうした社会環境の変化に対応し、将来の農林水産業を支えるために必要な研究開発にも重点的に取り組み、本県産業の発展に資する。</p>		
<p>2 事業概要</p> <p>本県の農林水産業にとって最大の課題である「担い手不足(高齢化)」と「産業としての脆弱さ」を克服することを目的とし、1) 競争力強化のための新たな特産資源の創出、2) 環境保全と地域内資源の循環利用による地域産業への貢献をテーマに取り組み、各プロジェクトにおいて成果が出ているところである。今後はそれぞれの技術を完成させ、早急な現場移転を進めていく。</p> <p>【将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト】</p> <p>① 島根の将来を支える商品づくりプロジェクト ～ 次世代の“島根ブランド”の主力となる商品群の開発 ～</p> <p>② 自然と共生する有機農業推進プロジェクト ～ 環境負荷軽減と高付加価値化を両立する新たな農業体系の確立 ～</p> <p>③ 「島根のバイオマス資源」循環活用プロジェクト(産廃税充当事業) ～ 地域に必要なエネルギー源の地域内調達と循環利用 ～</p> <p>④ 宍道湖・中海再生プロジェクト ～ 物理環境の変化の解明と水産資源の安定的漁獲の実現 ～</p>		
<p>3 事業実施主体</p> <p>県</p>		
<p>4 予算額</p> <p>55,333千円(うち11,446千円は産廃税充当事業)</p>		

総合	基本目標	Ⅲ 心豊かなしまね		
発展	政策名	4 自然環境、文化・歴史の保全と活用		
計画	施策名	5 環境保全の推進		
事務事業名		予算額	事業概要	事業実施主体
バイオマス利活用推進事業		528千円	バイオマスの利活用を推進するため、島根県バイオマス利活用推進協議会の運営、「島根県バイオマス活用推進計画」の推進に掛かる普及啓発活動及び情報の収集・発信を行う。	県